

喜んで与える人間となろう

鳥取県 やまなじ山名寺住職 ひら の しゅん どう平野 俊 堂

今朝は、喜んで与える人間となろうというお話です。

私が庭の落葉を掃いていると、裏山から草刈機をかついて降りてくる人がありました。お檀家の山田さんです。

山田さんは山の管理のベテランですので、私はつついその善意に甘えてしまっています。しかし山田さんは元々、その道の専門家ではありませんでした。

大手の金属会社で定年まで務めあげ、

訓練校で学びそのあと、一年間研修されたのです。自宅の山の管理のみならず、お寺や、お宮の山の管理を申し出られ、自主的に植林地の下草刈りや枝打ち・間伐などをして下さっています。

私がお礼を言うと、山田さんは「遊んでおったら体が怠けてしまいます。運動を兼ねての健康づくりだから、あんまり気を使わんといて下さい」と、にこやかに語られます。

「仏さまの教え」の中に「喜んで与える人間となろう」という教えがあります。

「物があれば物を。力があれば力を。知識があれば知識を。みんなに与えよう。なければ自分のなかに育てて与えよう花は美しさを惜しまず。小鳥は楽しい歌を惜しまない。

誰にでも与えている。与える時、人は豊かになり。惜しむ時、命は貧しくなる。喜んで与える人間になろう。」

山田さんの行いはまさにこのことだったのです。私は山田さんの帰られる後姿に合掌しました。